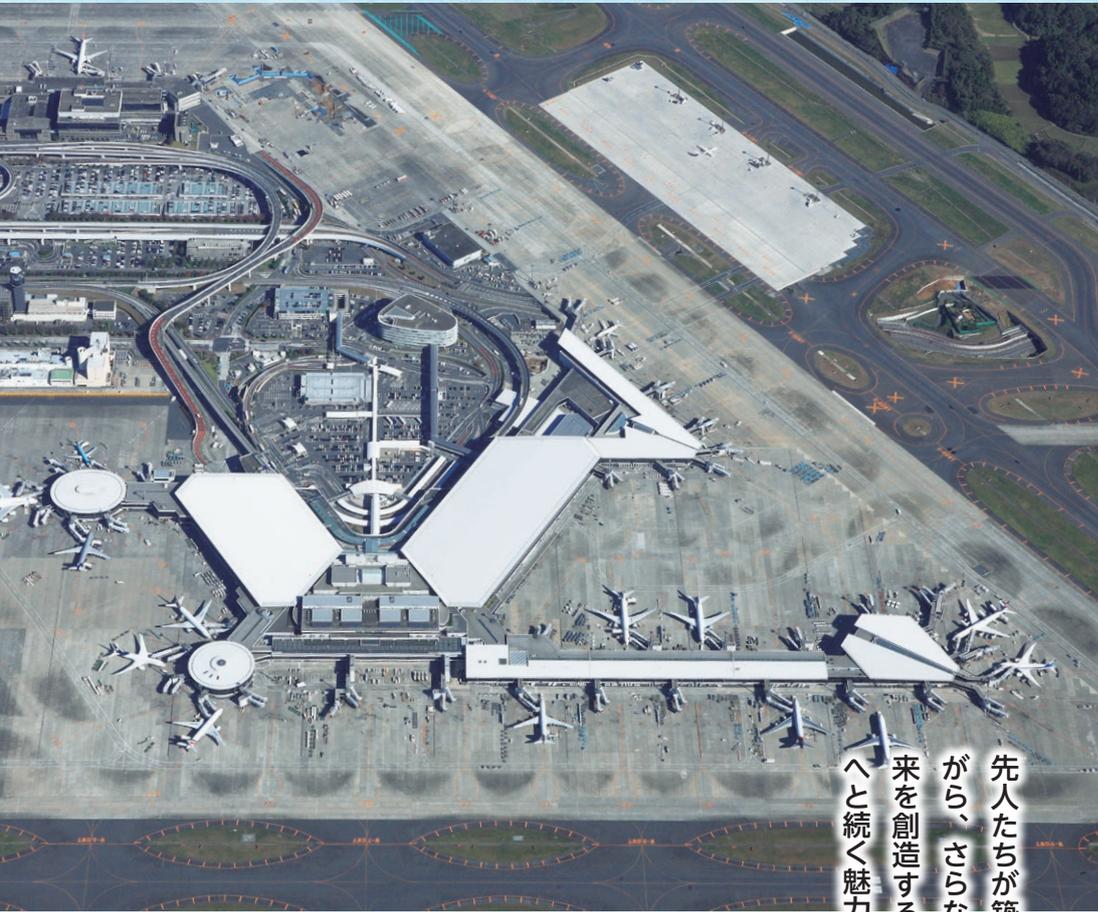


成田の未来を 創造するキーワード



先人たちが築き上げてきた伝統や文化を引き継ぎながら、さらなる飛躍と発展を目指すべく、成田の未来を創造するキーワードを紹介します。明るい未来へと続く魅力あるまちが見えてきます。



日本の空の玄関口、成田空港

🔑 国家戦略特区

「国家戦略特区」は、政府が進める新たな特別区域構想の一つです。雇用や医療などの大幅な規制緩和や構造改革によって、選定された地域を国際的な経済活動の拠点となるようにするのが狙いです。成田市は平成26年5月1日に東京都・神奈川県とともに「東京圏」の一部として国家戦略特区に指定されました。

市では2つの提案を行っています。1つめの「国際医療学園都市構想」では医学部の誘致をきっかけとして医療産業の集積を通じて、日本医療の海外

拠点となる都市を目指します。2つめの「エアポート都市構想」は、空港が立地している地の利を生かし、空港周辺地域の開発と、成田市と空港が融合するまちづくりを通じて、日本の空の玄関口にふさわしい都市を目指すものです。

🔑 運氣上昇のまち 成田

現在もお厚い信仰を集める成田山新勝寺。門前町は絶えることのない参詣客でにぎわっています。一方、成田空港からは毎日多くの飛行機が世界各地へと飛び立っています。

成田空港から勢いよく飛行機が上昇するイメージと成田山新勝寺、宗吾霊堂やこれらの門前町のご利益、運氣が上がるイメージを一体化し、空の町と門前町を一体的に発信するための本市の観光PRコンセプトを「運氣上昇のまち 成田」としました。



成田には「成田山新勝寺・門前町の魅力」「空港の魅力」「食の魅力」の3つの大きな魅力があります。それらの既存の「成田ブランド」をPRしていくのはもちろんのこと、新たな「成田ブランド」の発掘も積極的に行っています。

国際医療福祉大学

成田市では高等教育機関の要となる大学の誘致を進めてきました。市内・県内における医療従事者の不足を抜本的に改善し地域医療の向上を図るため、とくに医療系の大学に焦点を絞り、国際医療福祉大学の誘致が決定しています。

国際医療福祉大学は、日本で初めて



国際医療福祉大学の完成予想図

の医療福祉の総合大学として平成7年に開校し、全国にある4キャンパス6学部で現在約6,700人の学生が学んでいます。

市では誘致に当たって、公津の杜駅に隣接した敷地を貸与し、校舎建設費などの補助を行っていきます。計画では看護学部と保健医療学部の2学部5学科を設置。学生と教職員合わせて約1,600人が集う教育機関が平成28年4月に開学される予定です。

成田空港

平成22年10月、国、千葉県、空港周辺9市町、NANAの4者からなる「成田空港における四者会議」が開かれ、成田空港の発着枠を30万回に拡大することに合意しました。

平成23年10月、誘導路の改良や同時離着陸方式の導入などで発着枠は23・5万回に増加。平成25年夏ダイヤから空港容量が27万回に拡大されたことにより、オープンスカイが適用となり、航空会社が空港を自由に選べる時代となりました。

さらに、LCC専用ターミナルビルの新設などによって平成26年度中に発着枠30万回が達成される見込みです。市としても騒音対策や地域共生政策に力を注ぎ、ますます発展していく空港と共生していくまちを目指します。

東京オリンピック・パラリンピック

市では、成田空港を中心とする充実した交通ネットワークと総数約8,000室もの客室を有する宿泊環境を活かし、かねてからスポーツツーリズムの推進を掲げ、さまざまな大会の誘致などに努めています。

平成32年に開催が決まった東京オリンピック・パラリンピックでは、世界有数のインフラと安全性を誇る日本の都市力や競技開催の運営能力などを世界中にアピールし、観光立国としての日本を実現していく絶好の機会であると考えます。成田空港のある本市にはとくに多くの外国人選手や観光客が行き来することが予想されることから、トップアスリートによる合宿を誘致し、さらなるスポーツツーリズム推進へのきっかけにしていきたいと考えています。

首都圏中央連絡自動車道

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)は横浜、八王子、川越、つくば、成田、木更津など、都心から半径およそ40km〜60kmの位置にある都市を結び、東関東道、常磐道、東北道、関越道、中央道、東名高速道路などと連絡する環状道路です。

現在も未開通区間の整備が着々と進められており、平成26年4月には稲敷インターから神崎インターまでの区間が開通しました。成田市内には下総インターと、東関東道と接続する大栄ジャンクションの建設が予定されています。これによって埼玉や北関東、東北、甲信越や東海地方と成田空港が都心を経由せずに行き来できるようになり、空港と各地域間のアクセスと物流が飛躍的に向上することが期待されています。

にぎわいをみせる表参道

